

2023年度
(令和5年度)

情報学部
(第3年次編入学)

学生募集要項

新型コロナウイルス感染症の状況により
選抜方法等が変更となる可能性がありますので
本学ホームページで最新情報を確認してください。

2022年6月15日 一部変更



群馬大学

群馬大学の入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

<入学者に求める能力・資質>

群馬大学の理念、教育の目標に賛同し、本学の教職員と共に学術研究の成果を地域に還元し、豊かな地域社会・国際社会の創造に貢献していく意欲にあふれ、以下の能力・意欲を持つ人を求めています。

1. 高等学校の教育課程についての総合的な理解と大学教育を受けるにふさわしい基礎学力がある。
2. 専門分野を学ぶ上で必要な基礎知識と強い探究心、コミュニケーション能力を持っている。
3. 主体的に学ぶ姿勢と、論理的で柔軟な思考能力を持っている。
4. 知的好奇心が旺盛で、新しい課題に積極的に取り組む意欲がある。
5. 高い志と豊かな発想力を持ち、未来を切り開く夢と情熱を持っている。
6. 地域社会や国際社会に貢献する意欲とリーダーシップを持っている。

<入学者選抜の方針・方法>

群馬大学は、本学で学びたい学生に対し、その多面的な能力を評価し選抜するために、多様な受験機会・入学試験を提供します。また、本学の国際化推進基本計画に基づいて、海外からの留学生を積極的に受け入れる方針の下、受験機会を提供します。

本学の教育の目標、求める能力・資質に合致する学生を選抜するために、一般選抜（前期・後期）の他に、特別選抜として総合型選抜、学校推薦型選抜、帰国生選抜、社会人選抜、私費外国人留学生選抜、3年次編入学試験等の入学試験を実施します。本学の入学試験では、それぞれの学部・学科・課程の専門・特性に合わせて、大学入学共通テスト、個別学力検査、実技等試験、調査書、活動歴、面接、小論文等を組み合わせて、総合的に合否を判定します。

情報学部の入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

<人材育成の目標>

人工知能(AI)やIoTを含む先端技術の創出・利活用を可能とする知識基盤を備え、人文科学・社会科学の知見から情報社会における課題を発見し、情報科学とデータサイエンスの知識を総合することで、持続可能でインクルーシブな社会(Society5.0)の発展と課題解決に寄与できる人材の育成を目指す。

<入学者に求める能力・資質>

群馬大学の理念、教育の目標に賛同し、本学の教職員と共に学術研究の成果を地域に還元し、豊かな地域社会・国際社会の創造に貢献していく意欲にあふれ、以下の能力・意欲を持つ人を求める。

1. 高等学校の教育課程についての総合的な理解と大学教育を受けるにふさわしい基礎学力がある人
2. 情報学を学ぶ上で必要な基礎知識と強い探求心、コミュニケーション能力を持っている人
3. 主体的に学ぶ姿勢と、論理的で柔軟な思考能力を持っている人
4. 知的好奇心が旺盛で、新しい課題に積極的に取り組む意欲がある人
5. 高い志と豊かな発想力を持ち、未来を切り開く夢と情熱を持っている人
6. 地域社会や国際社会に貢献する意欲とリーダーシップを持っている人

<入学前に学習することが期待される内容>

人文情報プログラムあるいは社会共創プログラムを選択しようとする者は、外国語能力の向上と多文化の理解に関心があることが望まれる。また、データサイエンスプログラムあるいは計算機科学プログラムを選択しようとする者は、自然科学、中でも数学を基礎とする分野に強い探求心を持っていることが望まれる。

<入学者選抜の基本方針>

本学科では、上記の素養を持つ学生を選抜するために、次のような入学試験を実施します。

○一般選抜 前期日程

1 に対しては大学入学共通テストを課し、1 及び 3 に対しては学力試験を課します。

○一般選抜 後期日程

1 に対しては大学入学共通テストを課し、1 及び 3 に対しては小論文を課します。

○学校推薦型選抜

1 及び 3 に対しては小論文を、2～6 に対しては面接を課します。また、出願書類（調査書、推薦書）を加え、総合して判定します。

○私費外国人留学生選抜

日本語での大学教育を受けられる日本語能力を身につけているかどうかを判断するために日本留学試験を課しています。また、1 及び 3 に対しては学力試験を、2～6 に対しては面接を課します。さらに、成績証明書を加え、総合して判定します。

○帰国生選抜

1 及び 3 に対しては小論文と学力試験を、2～6 に対しては面接を課します。また、出願書類を加え、総合して判定します。

○社会人選抜

1 及び 3 に対しては小論文と学力試験を、2～6 に対しては面接を課します。また、出願書類を加え、総合して判定します。

○3年次編入学

1 及び 3 に対しては小論文を、2～6 に対しては面接を課します。また、出身学校の成績証明書及び志望理由書等を加え、総合して判定します。

<入学者選抜方法における重点評価項目>

該当する学力の3要素に「○」を付けています。なお、○の記号は、配点を示したものではありません。

入試区分	入学者選抜方法	該当する「学力の3要素」		
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・協働する態度
一般選抜 前期日程	大学入学共通テスト	○	○	
	学力試験	○	○	
	調査書			○
一般選抜 後期日程	大学入学共通テスト	○	○	
	小論文	○	○	
	調査書			○
学校推薦型選抜	小論文	○	○	
	面接	○	○	○
	調査書・推薦書	面接時の参考資料として利用		
私費外国人留学生選抜	日本留学試験	○	○	
	学力試験	○	○	
	面接	○	○	○
	成績証明書	○		
帰国生選抜	学力試験	○	○	
	小論文	○	○	
	面接	○	○	○
	出願書類	面接時の参考資料として利用		
社会人選抜	学力試験	○	○	
	小論文	○	○	
	面接	○	○	○
	出願書類	面接時の参考資料として利用		
3年次編入学	小論文	○	○	
	面接	○	○	○
	成績証明書及び志望理由書等	面接時の参考資料として利用		

【群馬大学志願者の入学検定料免除について】

群馬大学では、東日本大震災及び風水害等の災害に罹災した志願者の進学のを支援する観点から、特別措置として検定料の全額を免除します。

免除の対象となる災害及び被災地域など、免除に関する詳細については、本学のホームページを御覧ください。

インターネット出願について

群馬大学では、志願者の利便性向上及び入試業務の効率化を図るため、紙の募集要項ではなく、インターネット出願を導入しております。

インターネット出願の導入により、学生募集要項の取り寄せが不要となり、出願期間中は 24 時間いつでも出願登録ができます。

目 次

1. 募集人員	1
2. 入学の時期及び修学条件	1
3. 出願資格及び出願要件	1
4. 出願手続	3
5. 提出が必要な出願書類等	4
6. 提出が必要な出願書類等の提出先及び提出方法	8
7. 受験票について	8
8. 障害等のある入学志願者との事前相談について	10
9. 選抜方法	10
10. 学力試験科目等	10
11. 学力試験等日時	11
12. 学力試験等の配点	11
13. 合格発表	11
14. 入学手続	12
15. 追加合格	13
16. 入学志願者の個人情報保護について	13
17. 入学準備	13
18. その他	13
19. 第3年次編入学に関する問合せ・連絡先	13
20. 本学部所在地及び交通機関	14
試験場案内図	14
群馬大学検定料払込方法	15
情報学部の概要	16
出願書類記入上の注意	21

出願書類

※試験の実施に関して不測の事態（災害・事故等）が生じた場合は、本学情報学部ホームページに掲載しますので、御確認ください。なお、追試験は実施しません。

URL : [<https://www.inf.gunma-u.ac.jp/>]

1 募集人員

学 部	学 科	募 集 人 員
情報学部	情報学科	10名（社会人若干名を含む。）

2 入学の時期及び修学条件

- (1) 入学の時期は、2023年4月とします。
- (2) 学士の学位を得るには、本学部に2年以上在学し所定の単位を修得しなければなりません。
- (3) 入学後は、出身大学・学校の修得した単位の全部又は一部を本学部の卒業要件の単位として認定します。

3 出願資格及び出願要件

(1) 一般

次の出願資格のいずれかに該当し、かつ出願要件のいずれかを満たす者

〈出願資格〉

- ① 大学を卒業した者又は2023年3月までに卒業見込みの者
- ② 学校教育法（昭和22年法律第26号）第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者又は2023年3月までに学士の学位を授与される見込みの者
- ③ 短期大学を卒業した者又は2023年3月までに卒業見込みの者
- ④ 高等専門学校を卒業した者又は2023年3月までに卒業見込みの者
- ⑤ 大学に2年以上（休学期間を除く。）在学し、62単位以上取得した者、又は2023年3月までに大学に2年以上（休学期間を除く。）在学見込みで、かつ、62単位以上取得見込みの者
- ⑥ 学校教育法第132条の規定による専修学校の専門課程（修業年限が2年以上で、総授業時数が1,700時間以上）を修了した者又は2023年3月までに修了見込みの者
- ⑦ 高等学校、中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部の専攻科の課程（修業年限が2年以上であること）のうち、文部科学大臣の定める基準を満たすものを修了した者及び2023年3月までに修了見込みの者（ただし、学校教育法第90条第1項に規定する大学入学資格を有する者に限る。）
- ⑧ 外国において、学校教育における14年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。）を修了した者又は2023年3月までに修了見込みの者

〈出願要件〉

人文情報プログラム又は社会共創プログラム志願者

- ① 実用英語技能検定（英検） 2級以上
- ② TEAP Reading と Listening の2技能受験で合計100点以上
- ③ TOEIC Listening&Reading Test 500点以上（団体向けのTOEIC-IPは認めるが、IPテスト（オンライン）は除く）
- ④ TOEFL-ITP 460点以上（デジタル版は除く）
- ⑤ TOEFL-iBT 50点以上（Home Editionは除く）
- ⑥ IELTS 4.5以上
- ⑦ 実用数学技能検定 準1級以上
- ⑧ 統計検定 2級以上
- ⑨ 情報処理技術者試験（ITパスポートも含め、どの試験区分でも可）

（注）②～⑤については、受験日が2020年6月29日以降である場合に、それを有効とします。

※ データサイエンスプログラム又は計算機科学プログラム志願者の出願要件はありません。

(2) 社会人

2023年4月1日現在、次のいずれかに該当し、3年以上経過する者は社会人として出願することも可能です。

〈出願資格〉

- ① 大学・短期大学・高等専門学校を卒業した者
- ② 学校教育法（昭和22年法律第26号）第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者
- ③ 大学に2年以上（休学期間を除く。）在学し、62単位以上取得し退学した者
- ④ 学校教育法第132条の規定による専修学校の専門課程（修業年限が2年以上で、総授業時数が1,700時間以上）を修了した者
- ⑤ 高等学校、中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部の専攻科の課程（修業年限が2年以上であること）のうち、文部科学大臣の定める基準を満たすものを修了した者（ただし、学校教育法第90条第1項に規定する大学入学資格を有する者に限る。）
- ⑥ 外国において、学校教育における14年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。）を修了した者

※ 社会人の出願要件はありません。

参考 学校教育法（抜粋）

第104条第7項 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構は、文部科学大臣の定めるところにより、次の各号に掲げる者に対し、当該各号に定める学位を授与するものとする。

- 1 短期大学（専門職大学の前期課程を含む。）若しくは高等専門学校を卒業した者（専門職大学の前期課程にあつては、修了した者）又はこれに準ずる者で、大学における一定の単位の修得又はこれに相当するものとして文部科学大臣の定める学習を行い、大学を卒業した者と同等以上の学力を有すると認める者 学士
- 2 学校以外の教育施設で学校教育に類する教育を行うもののうち当該教育を行うにつき他の法律に特別の規定があるものに置かれる課程で、大学又は大学院に相当する教育を行うと認めるものを修了した者 学士、修士又は博士

第132条 専修学校の専門課程（修業年限が二年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。）を修了した者（第90条第1項に規定する者に限る。）は、文部科学大臣の定めるところにより、大学に編入学することができる。

4 出願手続

(1) 出願の流れ

インターネット出願の流れ・アクセス方法



(2) 出願期間

出願書類の提出は、必ず書留速達で一括して郵送してください。

2022年6月27日(月)から7月1日(金)までに必着のこと。ただし、出願期間後（7月2日(土)以降）に到着した場合でも、6月29日(水)までの（6月29日(水)を含む）発信局消印がある「書留速達」に限り受理します。

5 提出が必要な出願書類等

出願者は、出願期間内に下記の出願書類を情報学部教務係あて提出してください。

出願書類等	摘 要	該 当 者
(1)自動送信メール	インターネット出願ページの出願登録完了後の返信メールを印刷してください。	全員
(2)履歴書	情報学部ホームページから【様式1】を印刷してください。	出願資格(1)⑧及び(2)⑥に該当する者、職歴がある者
(3)検定料収納証明書貼付台紙	情報学部ホームページから【様式2】を印刷してください。	全員
(4)志望理由書	情報学部ホームページから【様式3】を印刷してください。	全員
(5)卒業証明書又は卒業見込証明書	出身学校所定の用紙。	出願資格(1)①③④⑥⑦⑧及び(2)①④⑤⑥に該当する者
(6)学位授与証明書	大学改革支援・学位授与機構が作成したもの。	出願資格(1)②及び(2)②に該当する者
(7)在学期間等証明書	情報学部ホームページから【様式4】を印刷してください。	出願資格(1)⑤又は(2)③に該当する者
(8)成績証明書	出身学校所定の用紙。	全員
(9)資格検定の証明書	出願要件の級・点数以上を取得したことを示す成績証明書の原本または合格を証明する書類の原本（原本は受験時に返却します。）	一般の人文情報プログラム又は社会共創プログラム志願者
(10)照合票	情報学部ホームページから【様式5】を印刷してください。写真1枚（上半身・正面・無帽、出願前3か月以内に撮影したもの）を照合票指定欄に貼付してください。	全員
(11)検定料 30,000円	<p>次のいずれかの方法により支払ってください。</p> <p>1. コンビニエンスストアでの支払い（パソコンやスマートフォン等のある環境で御利用ください。）</p> <p>(1) 15ページ「群馬大学 検定料払込方法」を参照の上、支払ってください。なお、支払手数料は支払人の負担となりますので、留意してください。</p> <p>(2) 支払後、レジにて受け取った「入学検定料・選考料 取扱明細書」の「収納証明書」部分を切り取り、検定料収納証明書貼付台紙の所定の欄に貼り付けてください。</p> <p>(3) 支払期間 <u>2022年6月13日(月)から7月1日(金)15時まで</u>（「Webサイトでの申込み」は、<u>支払期間終了30分前まで</u>）</p> <p>2. クレジットカードでの支払い（パソコンやスマートフォン等、プリンタのある環境で御利用ください。）</p> <p>(1) 15ページ「群馬大学 検定料払込方法」を参照の上、支払ってください。なお、支払手数料は支払人の負担となりますので、留意してください。</p> <p>(2) 支払後、「入学検定料・選考料 取扱明細書」を印刷し、「収納証明書」部分を切り取り、検定料収納証明書貼付台紙の所定の欄に貼り付けてください。</p> <p>(3) 支払期間 <u>2022年6月13日(月)から7月1日(金)15時まで</u></p> <p>※ 既納の検定料は原則として返還しません。</p> <p>ただし、検定料を振り込み後、本学に出願しなかった場合又は書類の不備等により受理されなかった場合、あるいは重複振り込み等所定の金額より多く振り込んだ場合は、下記手続により返還します。</p>	全員

(1)検定料 30,000円	<p>返還に当たっては便せん等を用い、次のア～エを明記した検定料返還申出書を作成して群馬大学財務部経理課へ郵送してください。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>群馬大学情報学部編入学試験検定料返還申出書</p> <p>ア 返還申出の理由</p> <p>イ 氏名（フリガナ）</p> <p>ウ 郵便番号、現住所</p> <p>エ 連絡先電話番号</p> </div> <p>返還申出書送付先</p> <p>〒371-8510 群馬県前橋市荒牧町4-2</p> <p style="text-align: center;">群馬大学財務部経理課収入係 電話027-220-7062</p> <p>返還手続を行う際に、「振込金受取書」又は「入学検定料・選考料 取扱明細書」が必要となります。返還される金額は、振込手数料を差し引いた金額となります。</p> <p>〈検定料の免除について〉</p> <p>※ 東日本大震災及び風水害等の災害に罹災した志願者については、特別措置として検定料の全額を免除します。</p> <p>〈検定料の免除の対象者〉</p> <p>1. 東日本大震災に係る特別措置</p> <p>(1) 東日本大震災における災害救助法が適用されている地域で罹災した志願者で、以下のいずれかに該当する者</p> <p style="padding-left: 20px;">① 学資負担者が所有する自宅家屋が全壊、大規模半壊、半壊又は流失した者</p> <p style="padding-left: 20px;">② 学資負担者が死亡又は行方不明の者</p> <p>(2) 学資負担者の居住地が、福島第一原子力発電所で発生した事故により、警戒区域、計画的避難区域、帰還困難区域、居住制限区域及び避難指示解除準備区域に指定された者</p> <p>2. 風水害等の災害に係る特別措置</p> <p>(1) 出願期限の日から前1年以内に発生した風水害等の災害において、災害救助法が適用されている地域で罹災した志願者で、以下のいずれかに該当する者</p> <p style="padding-left: 20px;">① 学資負担者が所有する自宅家屋が全壊、大規模半壊、半壊又は流出した者</p> <p style="padding-left: 20px;">② 学資負担者が死亡又は行方不明の者</p> <p>(2) 本学が指定する風水害等の災害における「災害救助法適用地域」については、本学ホームページ（入試情報＞学費・奨学金）を御確認ください。</p> <p>上記に該当される方は、「検定料免除申請書」を本学ホームページ（入試情報＞学費・奨学金）からダウンロードし、関係書類を添え出願書類に同封して申請してください。書類の提出に関する問合せ等は、平日8時30分から17時15分の間に学務部学生受入課【電話027-220-7149】まで連絡してください。群馬大学ホームページ（https://www.gunma-u.ac.jp/）</p>	全員
----------------	--	----

(12)受験許可書	勤務先所属長が発行したもの。	職業を有している者
(13)専修学校専門課程の修業年限及び課程修了に要する総授業時数の証明書	情報学部ホームページから【様式6】を印刷してください。	出願資格(1)⑥及び(2)④に該当する者
(14)高等学校等の専攻科の課程が文部科学大臣の定める基準を満たすものであることを証明する書類	修了した高等学校、中等教育学校又は特別支援学校が発行したもの。	出願資格(1)⑦及び(2)⑤に該当する者
(15)受験票等送付用封筒	7ページから「封筒貼付用宛名ラベル」を印刷しご自身で準備した長形3号定型封筒の表面に貼付け、送り先を明記し、674円分の切手を貼付してください。	全員

速達

674円分の切手をはってください。

--	--	--	--	--	--	--

(志願者名記入)

(受験票等送付先住所記入)

受
験
票
在
中

簡
易
書
留

殿

群馬大学情報学部教務係

〒371-8510

前橋市荒牧町4-2

電話 027(220)7404

整理番号 ※

※印欄は記入しないでください。

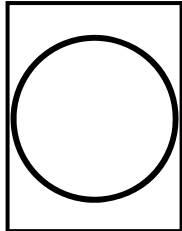
6 提出が必要な出願書類等の提出先及び提出方法

① 提出封筒の準備

封筒及び必要書類を用意し、提出してください。

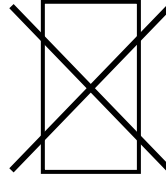
ア. 必ず、角形 2 号封筒（横 24 cm×縦 33.2 cmで A4 サイズの書類を折らずに入れることができる封筒）を使用してください。

長形 3 号定型封筒（横 12cm×縦 23.5cm）は使用できません。



角形 2 号封筒

（A4 の書類を折らずに入れることができる封筒）



長形 3 号定型封筒

イ. 9 ページから「封筒貼付用宛名ラベル」を印刷し、アの封筒の表（宛名）面に貼付してください。

② 提出が必要な出願書類等の封入

4 ページの「5 提出が必要な出願書類等」を確認し、必要な書類等を封入してください。

③ 書留速達郵便で送付

3 ページの「4 出願手続」の「(2)出願期間」の郵送期間内に必ず到着するよう、**書留速達**で郵送してください。

7 受験票について

インターネット出願により登録した内容と、本学に届いた出願書類の内容が確認され、出願が受理されると、2022 年 7 月 8 日（金）までに受験票を発送します。

※ 万一記載に誤りがある場合や 7 月 8 日（金）を過ぎても受験票が届かない場合には、13 ページの【19 第 3 年次編入学に関する問合せ・連絡先】まで問合せてください。

速達

3 7 1 8 7 9 9

日本郵便株式会社 前橋中央郵便局留

群馬大学情報学部 出願書類受付係御中

入学願書在中

書留

二折厳禁

ここに切手を
はってください

書留引受番号

Blank box for registration number

差 出 人	住所	郵便番号 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> - <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 電話番号 (<input type="text"/>) - <input type="text"/>
	氏名	<input type="text"/>

8 障害等のある入学志願者との事前相談について

本学では障害等のある学生への修学支援を行っております。

障害等があつて、受験上及び修学上特別な配慮を必要とする場合は、出願に先立ち、あらかじめ本学と相談してください。

(1) 相談の時期

2022年6月27日(月)までとしますが、なるべく早い時期に相談してください。

(2) 相談の方法

本学所定の相談書（群馬大学情報学部ホームページ参照 <https://www.inf.gunma-u.ac.jp/admission/transfer/>）に医師の診断書（写し可）等必要書類を添付して提出してください。必要な場合は、本学において志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面談等を行います。

(3) 連絡先

〒371-8510

群馬県前橋市荒牧町4-2

群馬大学情報学部教務係 電話 027-220-7404

9 選抜方法

選考は、小論文、面接（個人面接 一般12分、社会人20分）及び出身校における成績等により総合判定します。

なお、小論文については、出願時点で志願したプログラムによって文系型又は理系型のいずれかを解答してもらいます。

（小論文の得点は素点としますが、得点調整を行うことがあります。）

10 学力試験科目等

区 分	科 目 等	
一 般	小 論 文	<p>○人文情報プログラム又は社会共創プログラム志願者 文系型：広く現代社会に関する諸問題への関心度と理解度をみるとともに、勉学に必要な、長文読解力、論理的思考力、文章表現力等を試します。</p> <p>○データサイエンスプログラム又は計算機科学プログラム志願者 理系型：事象を数理モデル化し、必要なデータを活用して合理的な解を得て、その解や解の導出過程を筋道立てて論理的に説明する能力を試します。</p>
社 会 人	小 論 文	内容は、一般の小論文と同じです。

(注)面接は、全員に対して行います。

11 学力試験等日時

月日	時間					
	8:30	9:10	9:30	11:30	12:20	12:30
7月16日(土)		受付	諸注意	小論文	諸注意	面接

- (注) 1 受付は8時30分から行います。諸注意等があるので9時10分までには、定められた試験室に入室してください。
- 2 試験当日やむを得ない事情により遅刻した者には、試験開始後30分までは受験を認めます。ただし、試験時間は延長しません。
また、課せられた試験等はすべて受験しなければ失格となります。
なお、試験時間中の途中退場は認めません。
- 3 試験時間中に日常的な生活騒音等（監督者の巡回による足音・監督業務上必要な打ち合せなど、航空機・自動車・風雨・空調の音など、周囲の受験者の咳・くしゃみ・鼻をすする音など、携帯電話や時計等の短時間の鳴動、周囲の建物のチャイム音など）が発生した場合でも救済措置は行いません。
- 4 試験は、群馬大学荒牧キャンパスにおいて実施します。
- 5 昼食は必ず持参してください。
- 6 面接の順番により、終了時刻が異なります。
- 7 試験当日は、付添者は試験場に入構できません。

12 学力試験等の配点

科目等	配点
小論文	100点
面接	(総合判定の資料とします。)

13 合格発表

2022年7月27日(水)

合格者本人には郵便で通知します。

併せて、合格者の受験番号を群馬大学情報学部のホームページ（入学情報）に同日の13時以降から8月5日(金)17時まで掲載します。

URL : <https://www.inf.gunma-u.ac.jp/>

なお、ホームページに掲載する合格者情報は、情報提供サービスの一環として行うもので、万一ホームページの情報と合格者に郵送される合格通知書が異なる場合は、合格通知書を正しいものとします。

また、合否についての電話による問い合わせには、応じません。

14 入学手続

合格通知を受けた者は、入学手続を所定の期間に完了してください。

なお、事情により入学を辞退する場合は、速やかに入学辞退届（様式任意）を提出してください。

(1) 入学手続期間及び方法

2022年11月28日(月)から12月2日(金)

詳細については、2022年11月中旬に合格者本人に対して郵便で通知しますので、転居等により通知先を変更する場合は、速やかに届出をしてください。

所定の期間に入学手続を完了しない者は、入学辞退者として取扱います。

(2) 入学手続に必要なもの

① 入学料 282,000円

(注)ア. 入学時に入学料の改定が行われた場合は、改定金額を適用します。

イ. 入学料の納入方法等は、別途連絡します。

ウ. 納入した入学料は、いかなる理由があっても返還しません。

② 入学手続案内で指示するもの

(3) 入学後に必要な納付金

授業料 前期分 267,900円 年額 535,800円

(注)ア. 授業料に、入学時および在学中に改定が行われた場合は、改定金額を適用します。

イ. 授業料の納入方法等は、別途連絡します。

ウ. 授業料の納入については、希望により入学料の納入の際に、前期分又は前期分・後期分を合わせて納入することができます。

エ. 授業料を納入した入学手続完了者が、2023年3月31日(金)までに入学を辞退した場合は、納入した者の申し出により、所定の手続きの上、納入した授業料相当額を返還します。

(4) 入学料免除・徴収猶予及び授業料免除・徴収猶予

特別な事情により学費の納入が著しく困難であると認められた者（外国人留学生を除く日本学生支援機構給付型奨学金支給対象者）に対して、入学料及び授業料を免除する制度があります。

また、所定の納期までに入学料又は授業料の納入が困難であると認められた者に対しては、入学料又は授業料の徴収を一定期間猶予することがあります。

東日本大震災で罹災し学費の納入が著しく困難であると認められた者に対して、入学料又は授業料を免除する制度があります。

申請を希望する者は、群馬大学ホームページ (<https://www.gunma-u.ac.jp/>) の「入試情報>学費・奨学金」をご覧ください。

問合せ・連絡先 群馬大学学務部学生支援課 電話 027-220-7141

(5) 奨学金

経済的理由により修学に困難がある、学業・人物ともに優れた学生に対し、修学を援助するために日本学生支援機構等による奨学金の貸与・給付制度があります。

希望する者は、群馬大学ホームページ (<https://www.gunma-u.ac.jp/>) の「入試情報>学費・奨学金」をご覧ください。

問合せ・連絡先 群馬大学学務部学生支援課 電話 027-220-7142

なお、編入前の学校で日本学生支援機構の奨学金を貸与されていた場合、本学編入後も奨学金の貸与を継続できる制度があります。詳しくは在学校の奨学金担当者へお尋ねください。

15 追加合格

合格者の入学辞退により欠員が生じた場合は、追加合格により欠員を補充することがあります。これについては、本人あてに直接電話連絡しますので、不合格となった場合でも、連絡のとれる状態にしておいてください。

(転居等により連絡先を変更する場合は速やかに届出をしてください。連絡がとれない場合には、放棄と見なすことがあります。)

16 入学志願者の個人情報保護について

群馬大学では、提出された出願データ及び出願書類により取得した志願者の個人情報及び入学試験の実施により取得した受験者の個人情報について、「国立大学法人群馬大学保有個人情報管理規程」等に基づいて取扱い、次の目的以外には利用しません。

- 入学者選抜に関する業務（統計処理などの付随する業務を含む。）
- 入学手続完了者にあつては、入学者データとして入学後の就学指導業務、学生支援業務及び授業料徴収業務
- 大学運営上の目的で行われる調査・研究に関する業務（入試の改善や志願動向の調査・分析、各種統計資料作成業務を含む。）

なお、当該個人情報を利用した調査・研究結果の発表に際しては個人が特定できないように処理します。

また、本学の上記業務にあたり、一部の業務を個人情報の適切な取扱いに関する契約を締結した上で、外部の事業者へ委託することがあります。

17 入学準備

入学前までに、指定する図書を読み、レポートを作成することを課題とします。（詳細は合格者に別途お知らせします。）

18 その他

- (1) 出願書類に不備のある場合は、これを受理しないので十分留意してください。
- (2) 出願書類受理後は、いかなる理由があつても出願書類及び検定料は返還しません。
- (3) 出願書類の記載事項と相違する事実が判明した場合は、入学許可を取り消すことがあります。

19 第3年次編入学に関する問合せ・連絡先

〒371-8510 群馬県前橋市荒牧町4-2 群馬大学情報学部教務係

電話 027-220-7404

FAX 027-220-7405

20 本学部所在地及び交通機関

群馬大学情報学部

〒371-8510 群馬県前橋市荒牧町 4-2 ☎027-220-7404 (教務係直通)

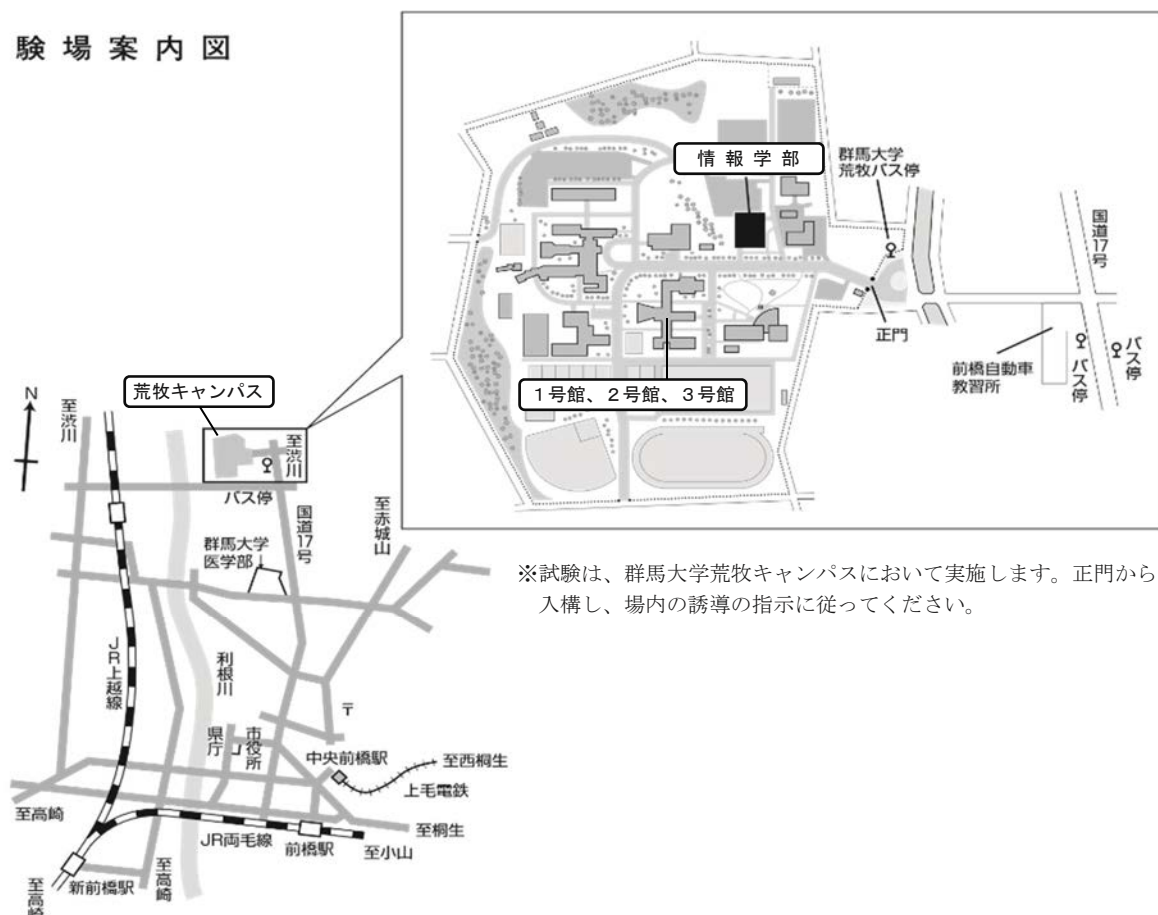
J R 前橋駅及び J R 渋川駅からのバス運行は下表のとおりです。

乗車場所	バス行先案内表示	下車停留所	所要時間	備考
J R 両毛線 前橋駅北口 2 番乗場	群馬大学荒牧行 群馬大学荒牧經由渋川駅行 群馬大学荒牧經由渋川市内循環渋川駅行 群馬大学荒牧經由小児医療センター行	群馬大学荒牧	約 28 分	関越交通バス
	渋川駅行 渋川市内循環渋川駅行 小児医療センター行	前橋自動車教習所前	約 25 分 徒歩 10 分	
J R 上越線 渋川駅前	群馬大学荒牧經由前橋駅行 渋川市内循環群馬大学荒牧經由前橋駅行	群馬大学荒牧	約 28 分	関越交通バス
	前橋駅行 渋川市内循環前橋駅行	前橋自動車教習所前	約 25 分 徒歩 10 分	

※公共交通機関の運行状況は必ず最新の情報を確認し、集合時刻までに到着できるよう十分に余裕を持って試験場へお越しください。

※ J R 群馬総社駅及び新前橋駅からは、公共交通機関がありませんので、注意してください。

試験場案内図



※試験は、群馬大学荒牧キャンパスにおいて実施します。正門から入構し、場内の誘導の指示に従ってください。

群馬大学 検定料払込方法

検定料はコンビニエンスストア「セブン-イレブン」「ローソン」「ミニストップ」「ファミリーマート」、クレジットカードで24時間いつでも払い込みが可能です。

事務手数料が別途かかります。詳しくはWebサイトをご確認ください。

1 Webで事前申込み

画面の指示に従って必要事項を入力し、お支払いに必要な番号を取得。



<https://e-shiharai.net/>

- ※カード決済完了後の修正・取消はできません。申込みを確定する前に、内容をよくご確認ください。
- ※番号取得後に入力ミスに気づいた場合はその番号では支払いを行わず、もう一度入力直して、新たな番号を取得してお支払いください。支払い期限内に代金を支払わなかった入力情報は、自動的にキャンセルされます。
- ※確定画面に表示される番号をメモしてください。

本学HP
からも
アクセス
できます！



2 お支払い

各店舗へ

そのまま
カード決済
手続へ

コンビニエンスストアでお支払い

- 検定料はATMでは振り込みできません。必ずレジでお支払いください。
- 店頭端末機の画面デザイン等は、予告なく変更される場合があります。

7-Eleven

【払込票番号 (13ケタ)】

●レジにて
「インターネット支払い」と
店員に伝え、印刷した【払込票】
を渡すか、【払込票番号】を
伝えてお支払いください。

マルチコピー機は使用しません

LAWSON MINI STOP

【お客様番号 (11ケタ)】
【確認番号 (4ケタ)】

Loppiへ

各種サービスマニュアル
各種代金・インターネット受付
(紫のボタン)
各種代金お支払い
マルチペイメントサービス

【お客様番号】【確認番号】
を入力

FamilyMart

【お客様番号 (11ケタ)】
【確認番号 (4ケタ)】

Famiポートへ

代金支払い
各種代金お支払い
番号入力画面に進む

【お客様番号】【確認番号】
を入力

クレジットカードでお支払い

VISA mastercard
JCB

※お支払いされるカードの名義人は、
受験生本人でなくても構いません。
但し、「基本情報入力」画面では、
必ず受験生本人の情報を入力して
ください。

Web申込みの際に、
支払方法で
「クレジットカード」を選択

カード情報を入力

全入力内容が表示されますので、
正しければ「確定」を押す

お支払い後、必ず「入学検定料・
選考料取扱明細書」(チケット)を
受け取ってください。

店頭端末機より出力される「申込券」(受付票)を持って、30分以内にレジで
お支払いください。

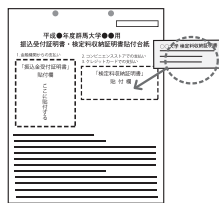
お支払い後、必ず「入学検定料・選考料 取扱明細書」を受け取ってください。

お支払い完了です。
E-支払いサイトの申込内容照会
(URL: <https://e-shiharai.net/>) にアクセス
して下記の手順に従って、
「収納証明書」を印刷してください。

3 出願

【コンビニエンスストアでお支払いの場合】

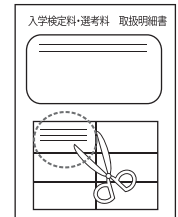
「入学検定料・選考料 取扱明細書」の「収納証明書」部分を切り取り、
貼付台紙の所定欄に貼る。



※「収納証明書」を糊付けする際には、糊本体の注意書きに
「感熱・感圧紙などを変色させる場合があります」と記載
されている糊はご使用にならないでください。
「収納証明書」が黒く変色する恐れがあります。

【クレジットカードでお支払いの場合】

支払完了後、E-支払いサイトの「申込内容照会」に
アクセスし、受付完了時に通知された【受付番号】と
【生年月日】を入力して「収納証明書」を印刷。
「収納証明書」部分を切り取り、
貼付台紙の所定欄に貼り出願。



<注意>
プリンタのある環境が必要です。
スマートフォンでお申込みされた方は、
プリンタのある環境でご利用ください。

※クレジットカードでお支払いされた場合、
「取扱金融機関出納印」は不要です。

⚠ 注意事項

- 携帯サイトの未成年者アクセス制限サービスは解除してご利用ください。
- 出願期間を入試要項等でご確認のうえ、締切に間に合うよう十分に余裕をもってお支払いください。
- 支払い最終日の「Webサイトでの申込み」は14:30まで、店頭端末機の操作は15:00までです。クレジットカードの場合、Webサイトでの申込みと同時に支払いが完了します。14:30までにお手続きしてください。
- 「検定料払込」についてのお問い合わせは、コンビニ店頭ではお答えできません。詳しくはWebサイトをご確認ください。
- 一度お支払いされた検定料は返金できません。
- 検定料の他に事務手数料が別途かかります。詳しくはWebサイトをご確認ください。
- 「申込内容照会」から収納証明書が印刷できるのは、クレジットカードでお支払いされた場合に限りです。
- カード審査が通らなかった場合は、クレジットカード会社へ直接お問い合わせください。
- 取扱いコンビニ、支払方法は変更になる場合があります。変更された場合は、Webサイトにてご案内いたします。

情報学部の概要

1 情報学部のめざす教育

群馬大学は、国を挙げて推進する、経済発展と社会的課題の解決を両立していく新たな社会である Society 5.0 の実現に資する新たな教育研究体制の整備を検討してきました。Society 5.0 は、サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシステムにより実現されるもので、先端技術の利用によって新たな価値が生まれる社会、誰もが快適で活力に満ちた質の高い生活を送ることができるような、一人ひとりの人間が中心の社会とされます。

言い換えれば、I o T、ロボット、人工知能（A I）、ビッグデータといった新たな技術の進展によって情報社会が急速に変化する一方で、高齢化、人口減少、インフラの老朽化などの社会課題と向き合い、人間中心の理念の下に、テクノロジーと社会の仕組みを連動して変革することで「多様性を内包した持続可能な社会」を実現することが求められています。

群馬大学は、大学が持つ教育研究機能として「情報学」に焦点を当てることで、Society 5.0 を担う人材の育成と研究の推進に取り組むこととしました。人文社会科学から情報学にアプローチし、主にコミュニケーション・メディア分野における学問を担ってきた社会情報学部（平成5年設置）と、伝統的に情報処理・通信分野、計算機科学に強く、エレクトロニクスと情報科学の分野における学問を担ってきた理工学部電子情報理工学科の情報科学コースをバックグラウンドとして、双方の機能を統合させた、文理融合の教育研究組織としての情報学部を設置しました。

社会からの要請と期待に応えるために、本学部では次のような人材を育成することを目標（ディプロマ・ポリシー）としています。

（ディプロマ・ポリシー）

- （1）現代情報社会の諸問題の根幹と先端的な情報科学の特性を理解し、人間中心社会に向けて社会課題解決に統計学や情報技術を活用することができる。
- （2）データをもとに具体的な社会組織や制度を改良することができる能力を持つ。
- （3）構想される社会目標の達成のためのデータの収集と実証的な検証をする能力を修得する。コミュニケーション能力をもとにデータサイエンスの結果を社会実装することができる。
- （4）人工知能やI o Tを含む先端技術の創出と利活用の知識基盤を備えている。

さらに、各プログラムにおいては以下の専門的学識や能力を修得していることを目標とします。

- （1）人文情報プログラムにおいては、現代情報社会の諸問題の根幹と先端的な情報科学の特性を理解し、人間中心社会の構想を提示する能力
具体的には、次のとおりです。
 - ・ 人文科学的知見を活用して高度情報化社会における課題を探索する能力
 - ・ 高度情報化社会における課題解決のための実践的理念を提供する能力
- （2）社会共創プログラムにおいては、持続可能な包摂型社会の実現に向けた課題解決を、具体的な社会組織や制度の設計・構築と検証によって図ることができる能力
具体的には、次のとおりです。
 - ・ 高度情報化によるシステム（制度）の変化について、社会科学的知見を活用して課題を発見する能力
 - ・ 社会的課題の解決及び社会目標の達成のためのシステム（制度）の構築や方策を提案できる能力
- （3）データサイエンスプログラムにおいては、社会的課題に関わるデータの適切な収集、その科学的分析による問題の定式化・解決策を提示する能力
具体的には、次のとおりです。

- ・ 社会的課題の実証的定式化と数理最適化による解決策を提示する能力
 - ・ 構想される社会目標の達成のためのデータの収集と実証的な検証をする能力
- (4) 計算機科学プログラムにおいては、計算機を利用するための基礎知識を身に付け、論理的思考により科学、工学に関する問題に応用する能力
- 具体的には、次のとおりです。
- ・ 計算や情報を視点とした情報科学の数学理論を身につけ、応用する能力を修得
 - ・ 計算機の構造と原理、計算機による効率的な計算の方法及び計算機システムの基礎知識を身につけ、それらに関する技術を開発する能力
 - ・ 計算機に推論や認識などの知的機能を実現するための理論を身につけ、その技術を開発する能力

2 情報学部の教育方針

本学部は、上述したディプロマ・ポリシーに従った人材を育成するために、次のような教育方針（カリキュラム・ポリシー）を掲げています。

（カリキュラム・ポリシー）

- (1) 初年次は、人文科学、社会科学、自然科学および外国語教育などの教養教育科目により、全学部共通の豊かな人間性と広い見識を持つことの重要性を理解し、コミュニケーション能力により国際的に活躍するための基本素養を身に付けさせる。また、数理・データサイエンスに関しても統計学的基礎を身に付けさせ、その後の4プログラムの学習の基礎となる知識とスキルを身に付けさせる。4プログラムのそれぞれの特徴を理解し、2年目から各プログラムの専門性を重視した教育を行うため、学部基盤共通科目として文化・社会・倫理的諸問題と社会組織や制度の設計・構築のための基本的知識と統計学・情報技術の基本的スキルを身に付けさせる。
- (2) 2年次以降は、教育プログラムの目標を達成するための専門教育をカリキュラムマップに則って系統的に行う。また、この専門教育を補う形で、選択したプログラムとは異なるプログラムの基礎的な科目の教育を行い、分野横断の幅広い専門知識の獲得を目指す教育を行う。
- (3) 3年次以降は主に融合型PBL、ゼミナールおよび卒業研究などによりアクティブ・ラーニングを実践する教育を行う。

なお、4つの教育プログラムにおいて、それぞれ次のような教育を行うことで、高度情報化社会において情報を基軸としてあらゆる分野で活躍するための専門能力を修得させる。

- (1) 人文情報プログラムにおいては、ソーシャルメディア論、コミュニケーション論、理論社会学、社会心理学、言語メディア論などを網羅した体系的なカリキュラムを通じて、現代情報社会の諸問題の根幹と先端的な情報科学の特性を理解させる教育を実施する。これにより、人間中心社会の構想を提示できる人材を育てる教育を展開する。
- (2) 社会共創プログラムにおいては、政策情報論、情報政治論、情報法、環境法、経営組織論などを網羅した体系的なカリキュラムを通じて、情報技術を用いた社会組織や制度を設計し、構築する能力を身に付けられる教育を実施する。これにより、設計し、構築した社会組織や制度を、グローバルに実現し得る人材を育てる教育を展開する。
- (3) データサイエンスプログラムにおいては、統計学、機械学習、数理最適化、データマイニング、シミュレーションなどを網羅した体系的なカリキュラムを通じて、課題に対して適切なデータの収集能力・分析能力を身に付けられる教育を実施する。これにより、その課題を数理的に定式化し、解決策の導出ができる人材を育てる教育を展開する。
- (4) 計算機科学プログラムにおいては、計算機システム、情報ネットワーク、オペレーティングシステム、画像処理など情報科学の基礎理論から応用技術までを網羅した体系的なカリキュラムを通じて、情報科学に関連した幅広い基礎知識を身に付けられる教育を実施する。これにより、課

題解決のための論理的思考に基づいた応用力と倫理観を備え、科学技術の発展にグローバルに貢献できる人材を育てる教育を展開する。

学生の皆さん一人ひとりが情報学部の教育課程を十分に活用されること、能動的・主体的に知識を深め、かつ自らの興味・関心を先鋭化させて学修を進め、大学生活を大いに充実させることを期待します。

3 情報学部の専門教育課程

本学部の専門教育の課程は、すべての学生が共通して学ぶ学部基盤教育と、教育プログラムの目標を達成するための各教育プログラムにおける専門教育とに分かれます。

学部基盤教育では、基盤必修教育として本学部で学ぶすべての学生に共通するデータサイエンスの理論とスキル、人文社会の概念や分析方法を体系的に学習します。さらに、配属される教育プログラムでの学修の基礎となる文系及び理系科目の双方を学びます。

また、自分の希望に応じて4つの教育プログラムから学修分野を選択してより専門的な内容を学習していくことになります。選択した教育プログラムで用意されているプログラム科目の中から科目を選択して履修することが中心となりますが、他の教育プログラムで用意されているプログラム科目からも科目を選択して履修することになります。

また、どのプログラムを選択したとしても、3年次には融合型PBLとゼミナール、4年次には卒業研究を履修します。

その他に、「グローバルフロンティアリーダー（GFL）育成コース」という選抜制履修プログラムが用意してあります。

4 教育プログラム

情報学部で用意されている4つの教育プログラムについて説明します。

(1) 人文情報プログラム

[プログラムの特徴]

このプログラムは、地域を超えて全世界的に進展する情報技術と、それらを受容し、利用し、変化する人々の社会的な営みとの間に生み出される現代的な諸課題の探索とその解決のための実践的理念の提示を、次の①から③の観点から行います。

- ① 現代的な諸課題を世界の人々と共有するための語学を主とする実践的なコミュニケーション能力、および世界の人々が現代メディアを用いてなすコミュニケーションを多様な角度から分析するための人文社会科学的素養を持つこと。
- ② 世界各地のメディアと文化の関係の多様な展開の諸相を明らかにすること。
- ③ 近年急速に蓄積されつつあるデータ科学の知見や手法を踏まえつつ、高度情報社会に生きる人間のあり方を哲学・倫理学、歴史学、心理学、言語学、社会学といった人文諸科学の分野から追究すること。

[授業科目のグループ分け]

このプログラムの科目は、三つのグループから構成されています。

一つ目は、語学とコミュニケーションに関する科目で、人文情報プログラムの基盤として位置づけることができます。プログラムの科目としては、「専門外国語1」、「専門外国語2」、「言語学的コミュニケーション論」、「マス・コミュニケーション理論」、「社会的コミュニケーション論」、「異文化コミュニケーション論」などがあります。

二つ目は、メディアと文化の諸相に関するもので、人文情報プログラムの科目としては、「ソーシャルメディア論」、「身体メディア論」、「現代文化論」、「映像産業論」、他プログラムの科目でこのグループに位置付けられるものとしては、「情報産業基礎論」、「政策情報論」などがあります。

三つ目は、高度情報化社会における人々の生に関する科目で、人文情報プログラムには「近・現代科学哲学」、「歴史情報論」、「芸術表象論」、「批判的メディアリテラシー」、「計量文献学」といっ

た科目があり、他プログラムの科目でこのグループに位置付けられるものとしては、「ゲーム理論」、「医療情報学」などがあります。

以上のような科目グループの授業を横断的に受講することで、高度情報社会に生きるわれわれ人間とその文化を深く、広く理解することを目指します。

(2) 社会共創プログラム

[プログラムの特徴]

このプログラムでは、高度情報化によるシステム（制度）の変化について、社会科学的知見を活用して課題を発見し、社会的課題の解決及び社会目標の達成のためのシステム（制度）の構築や方策を提案できる能力を身に付ける教育を実施します。具体的には、プログラム専門教育科目として法律・環境系科目や経済・経営系科目などの科目を学習し、先端情報技術により可能となる価値を社会制度として実装できグローバル社会で活躍できる人材を養成します。

[授業科目のグループ分け]

このプログラムの科目は、四つのグループから構成されています。

一つ目は、官公庁だけでなく社会の様々な組織（企業、政党、学校等）における政策決定過程、政治・行政過程と情報とのかかわり、情報化社会にとって重要と思われる諸政策、情報と法との関連等を幅広く学ぶもので、「情報社会と人権」、「政策情報論」、「情報政治論」、「情報社会と私法」、「地方自治1」、「環境政策」、「情報法1」、「環境法1」などがこれに属します。

二つ目は、政策決定の指針となり、また行政の基準でもある重要な諸法律を学ぶもので、ここでは、各種公務員試験や、資格試験に必要な伝統的な法学の諸分野が用意されています。「憲法1」、「行政法1」、「民法1」、「経済法・知的財産法」、「企業法」、「刑法」などがあります。

三つ目は、主として、経済システムの基本的メカニズムを学ぶもので、「経済学基礎論」、「マクロ経済学」、「ミクロ経済学」といった総括的な取り扱いを行う科目と、「生活経済政策」、「金融論」などの各論的に展開する科目があります。

四つ目は、経済システムの中で生産・分配の機能を担当する経済主体である営利組織（企業）、非営利組織の構造、行動、成果（評価）に焦点をあてる経営学・会計学系統の科目があります。すなわち、「経営学入門」、「経営組織論」、「経営戦略論」、「会計学1」などです。近年、コンピュータの利用や情報化の進展が著しいこの領域の実体を並行して学ぶこととなります。

このように四つに分けましたが、内容的には有機的に密接に関連していますので、皆さんはこれらをバランスよく履修し、自分の学習計画を立ててください。

(3) データサイエンスプログラム

[プログラムの特徴]

このプログラムでは、統計学、機械学習、数理最適化、データマイニング、シミュレーションなどを網羅した体系的なカリキュラムを通じて、社会に広く存在するデータを適切に収集・分析する能力を身につける教育を実施します。新たな価値創造のための課題発見や、その課題を数理的に定式化して解決策の導出ができる人材を養成します。

[授業科目のグループ分け]

このプログラムの授業科目は四つのグループに分けられます。

第一に、データサイエンスの基礎を学ぶ科目です。「確率統計2」、「確率統計演習」、「多変量解析」、「機械学習」、「時系列解析」、「ベイズ統計学」、「ノンパラメトリック解析」、「空間統計」がこれに該当します。

第二に、OR・意思決定科学に関する科目です。何かしらの意思決定が求められる場面で「どうするのがベストか？」を科学的に導き出すための理論を学びます。「数理最適化」、「経営科学」、「意思決定と社会的選択」、「ゲーム理論」、「シミュレーション」がこれに該当します。

第三に、新たな価値創造・調査・応用に関する科目です。調査や実験を信頼できるものにするための方法論や、データサイエンスの諸分野への応用を学びます。「調査・実験デザイン」、「計量経済分析」、「医療AI」、「医療情報学」、「学習データ分析」がこれに該当します。

第四に、データエンジニアリングに関する科目です。大規模なデータの利活用を自らの手で行なうためのスキルを身につけます。「プログラミング演習1(DS)」、「プログラミング演習2(DS)」、「データエンジニアリング」、「データマイニング演習」、「画像処理」がこれに該当します。

データサイエンティスト、データアナリスト、データエンジニアに求められるスキルは多岐にわたります。自らの興味や力をつけたいテーマに応じて、選択科目を積極的に履修して下さい。

(4) 計算機科学プログラム

[プログラムの特徴]

このプログラムでは、計算機システム、情報ネットワーク、オペレーティングシステム、画像処理など情報科学の基礎理論から応用技術までを網羅した体系的なカリキュラムを通じて、情報科学に関連した幅広い基礎知識を身に付ける教育を行います。これにより、課題解決のための論理的思考に基づいた応用力と倫理観を備え、科学技術の発展にグローバルに貢献できる人材を育てる教育を展開します。

[授業科目のグループ分け]

このプログラムの授業科目は大きく二つのグループに分けられます。

一つ目は「基礎科目群」であり、情報科学に関する様々な知識や技術を修得するために必要となる基礎理論やソフトウェア開発に必要となるプログラミング言語などの知識や技術を修得するための科目です。これには、「確率統計2」、「離散数学2」といった学部基盤教育科目の内容をより高度に学ぶ科目や「形式言語とオートマトン」のような計算機動作の数学的モデルを学ぶ科目、「プログラミング演習1(CS)」、「プログラミング演習2(CS)」のようなプログラミング技術を高める演習、「情報科学実験」のような計算機の仕組みを学ぶための実験などの科目があります。

二つ目は「応用・展開科目群」であり、「基礎科目群」で修得した知識や技術をベースにして、さらに情報科学における様々な分野の知識や技術をより深く学修するための科目です。これには、「人工知能」、「情報ネットワーク」、「コンピュータグラフィクス」のような現在世の中で広く利用されている情報技術の仕組みを学ぶ科目だけでなく、「デジタルシステム設計」のような計算機ハードウェアの設計に関する科目や「ソフトウェア工学」のようなソフトウェア開発工程に関する科目などもあります。

5 卒業後の進路

情報学部の母体となる社会情報学部の就職率は98%、理工学部電子情報理工学科情報科学コースは半数以上が大学院に進学しています。

なお、卒業者には、学士(情報学)の学位が授与されます。

以下で、情報学部の母体となった「社会情報学部」及び「理工学部電子情報理工学科・情報科学コース」における2020年度末の進路情報をご紹介します。

<https://www.inf.gunma-u.ac.jp/career/status/>

出願書類記入上の注意

次の事項に留意し、もれなく正確に記入してください。

ア 黒又は青インクを使用してください。(ボールペンも可)

イ 太線内は、すべて記入してください。(※印の欄は注意事項に従うこと。)

1 照合票

- ① 一般か社会人かの別を○で囲んでください。
- ② 希望するプログラムを○で囲んでください。
- ③ 写真（上半身・正面・無帽で、出願前3か月以内に撮影したもの。縦4 cm×横3 cm）の裏に氏名を記入して、全面糊付けしてください。

2 志望理由書

- ① 一般か社会人かの別を○で囲んでください。
- ② 希望するプログラム名を記入してください。
- ③ 面接に使用しますので、特に伝えたいこと等を記入してください。

◎ なお、出願に当たっては、「5 提出が必要な出願書類等」の(1)～(15)の書類があるか確認の上、本学所定の封筒貼付用宛名ラベルを使用し、必ず書留速達で郵送してください。

出願書類

履 歴 書

学 歴〔外国における学校教育の課程を修了した者のみ記入してください〕

区 分	入学・卒業年月	修業年限	在学年数	学 校 名
初 等 教 育 (小 学 校)	年 月入学 年 月卒業	年	年	
中 等 教 育 (中 学 校)	年 月入学 年 月卒業	年	年	
中 等 教 育 (高 等 学 校)	年 月入学 年 月卒業	年	年	
高 等 教 育 (大 学)	年 月入学 年 月卒業	年	年	
以上を通算した全学校教育年数		年	年	

職 歴〔該当者のみ記入してください〕

年 月	職 業 ・ 会 社 名 等
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	

検定料収納証明書貼付台紙

1. コンビニエンスストアでの支払い
2. クレジットカードでの支払い

◆ 『検定料収納証明書』 貼付欄

1. コンビニエンスストアでの支払い（パソコンやスマートフォン等のある環境で御利用ください。）
 - (1) 15ページ「群馬大学 検定料払込方法」を参照の上、支払ってください。なお、支払手数料は支払人の負担となりますので、留意してください。
 - (2) 支払後、レジにて受け取った「入学検定料・選考料 取扱明細書」の「収納証明書」部分を切り取り、『検定料収納証明書』貼付欄に貼り付けてください。
 - (3) 支払期間 2022年6月13日(月)から7月1日(金)15時まで
(「Webサイトでの申込み」は、支払期間終了30分前まで)
2. クレジットカードでの支払い（パソコンやスマートフォン等、プリンタのある環境で御利用ください。）
 - (1) 15ページ「群馬大学 検定料払込方法」を参照の上、支払ってください。なお、支払手数料は支払人の負担となりますので、留意してください。
 - (2) 支払後、「入学検定料・選考料 取扱明細書」を印刷し、「収納証明書」部分を切り取り、『検定料収納証明書』貼付欄に貼り付けてください。
 - (3) 支払期間 2022年6月13日(月)から7月1日(金)15時まで

検定料免除申請者

東日本大震災及び風水害等の災害に罹災し、免除対象となる志願者で、検定料免除申請をする者については、検定料は振り込まずに、上欄にチェック☑を入れて関係書類を添えて提出してください。

在学期間等証明書

学籍番号

氏 名

生年月日 年 月 日生

上記の者は、本学 学部 学科に2023年
3月31日までに2年以上(休学期間を除く。) ※ 在学し・在学見込みであり、
62単位以上修得 ※ 済み・見込み であることを証明する。

年 月 日

(大学長又は学部長名)

印

※の箇所は該当する内容に○を付けてください。

様式 5

2023年度 群馬大学情報学部 第3年次編入学照合票

区 分	1 . 一 般	2 . 社 会 人
受 験 番 号	※	
フリガナ		写 真 貼 付 縦4cm×横3cm 3か月以内に撮影 した上半身・正面 ・無帽のもの
氏 名		
プログラム名	1. 人文情報プログラム 2. 社会共創プログラム 3. データサイエンスプログラム 4. 計算機科学プログラム	

(注意) ※欄は、記入しないこと。

専修学校専門課程の修業年限及び
課程修了に要する総授業時数の証明書

志願者名 _____

生年月日 _____ 年 _____ 月 _____ 日生

修了（修了見込み）学科名
_____専門課程修了（修了見込み）年月日
_____ 年 _____ 月 _____ 日 修了・修了見込み

上記の者は、本専修学校専門課程（学校教育法に定める専修学校専門課程として _____ 年 _____ 月認可済）において、修業年限2年以上及び総授業時数1,700時間以上の課程を修めた又は2023年3月までに修める見込みであることを証明する。

年 _____ 月 _____ 日

専修学校名 _____

学校長名 _____ 印

〒

所在地 _____

電話番号 _____ — _____

